

氏名	森 正樹	部署	共通教育科	職名	教授
研究分野	特別支援教育・障害児保育				
学位	修士（教育学）				
学歴	東京学芸大学教育学部特殊教育学科卒業(1991年3月) 東京学芸大学大学院修士課程教育学研究科修了(2003年3月)				
経歴	2007年 埼玉県立大学保健医療福祉学部非常勤講師 2010年 埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授 2023年 埼玉県立大学保健医療福祉学部教授（現職） 公認心理師				
所属学会（役職）	日本特殊教育学会・日本発達心理学会・日本精神保健看護学会・日本発達障害学会（評議委員）				

【2025年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	心と体の健康（第29巻 第8号）	共著	あり	健学社（42頁-44頁）		学校保健教育研究会	2025.8.1
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	教育・保育実践における障害のある子どもの保護者との信頼関係構築－養成課程の授業用教材の開発と提案－	単著	なし		教職研究 第45号43-52	森正樹	2026.3
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし						
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別		研究期間	
1	該当なし						
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	発達障害論	○	15	発達障害の特性と支援方法について、学生が主体的に学習できるように、映像資料や事例をもとにしたグループワークを実施した。学生に共同的な学習と発展的思考を促す課題や発問を用意した。			
2	教育心理学	○	15	教職志望の学生が発達理論や、学習・認知・社会性等の理論を実際の児童生徒の姿に関連付けて理解できるように各種資料、発展問題を準備。児童生徒の実態及び教育現場の実践に即した解説を行った。			
3	人間発達学①	○	15	生涯発達を身近な体験や事象に関連づける視点の提供を心がけた。写真資料やエピソード等、具体的な素材を活用するとともに、学生が主体的に考えるための発展問題を工夫して授業内容に採り入れた。			
4	人間発達学②	○	15	生涯発達を身近な体験や事象に関連づける視点の提供を心がけた。写真資料やエピソード等、具体的な素材を活用するとともに、学生が主体的に考えるための発展問題を工夫して授業内容に採り入れた。			
5	教育相談	○	15	いじめ・不登校・発達障害等について、現今の教育現場の実態と課題を学ぶ実践的な学習機会を提供。児童生徒への関わりをグループワークやロールプレイなどで学ぶ、実践的な授業内容を工夫した。			
6	子ども家庭支援の心理学	○	15	家族理解と支援の視点に関して、仮想事例や映像教材等を活用して実践的授業を進めた。自身の研究と支援活動に依拠した授業用資料を準備（架空事例）。これをもとにグループワークを展開した。			

7	特別支援教育	○	8	発達障害など特別な教育的支援を要する児童生徒の実態と指導方法を具体的に理解できるように、各種教材を作成・活用した。自身の実践経験もふまえ、より具体的・実践的な授業内容を目指した。
8	教師論		1	今日の学校教育の諸課題を概観した。特別な教育的支援を要する児童生徒、多様な文化的背景のある児童生徒や保護者の実態とニーズについて具体的資料をもとに解説し、学生が教職への展望を持つことを期した。
9	特別な保育・教育ニーズの理解と支援		7	障害のある子どもと家族の理解と支援に関して、事例や映像等を活用し実践的学習の機会を提供。自身の研究と支援活動に依拠した授業用資料（モデル事例）を準備し、グループワークを行った。
10	コンサルテーション論 （大学院）		2	障害のある児童生徒の支援に関する諸課題に着目し、学校や教師が保護者との信頼関係を築くための手立てについて検討した。さらに、教師の専門性開発とコンサルテーションの可能性を展望した。
11	養護実践特論		1	今日の学校教育の諸課題を踏まえ、発達障害のある子どもの理解と教育的支援の実践について検討した。併せて、学校内外の専門家同士の連携と協働について模擬事例を踏まえて解説した。
12	リハビリテーション教育学Ⅰ （大学院）		1	青年期の生涯発達における位置づけと発達課題及び心理社会的特性について解説した。青年期以降の学習者を想定し、大学や専門学校等の養成課程での授業の留意点を自身の実践を踏まえ解説した。
（２）演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	カウンセリング技法③	○	15	紙上訓練・模擬面接・ロールプレイ・グループワーク等で、対人援助に必要なコミュニケーション技術の体験的学習の機会を提供。学生・教員の相互性の高い授業を目指した。学生の自己理解の観点も提供した。
2	カウンセリング技法⑥	○	15	紙上訓練・模擬面接・ロールプレイ・グループワーク等で、対人援助に必要なコミュニケーション技術の体験的学習の機会を提供。学生・教員の相互性の高い授業を目指した。学生の自己理解の観点も提供した。
（３）実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ヒューマンケア体験実習	○	9.19-9.26	主任科目責任者として、当該科目全体の計画と運営にあたった。科目の円滑かつ適切な運営、及び教育の質向上のための教員への働きかけ、協力実習施設の確保と関係構築を目指した。
2	養護実習Ⅱ	○	5-6月中	養護教諭志望の学生（４年生）の巡視指導を埼玉県及び茨城県の公立学校で実施した。当該学生に実習に望む基本姿勢、児童とのコミュニケーションや研究授業に関する実践的助言と指導を行なった。
（４）論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2025.4-2026.1	主指導 3名	副指導 0名
2	修士論文	2025.4-2026.1	主指導（指導教員） 0名	副指導（指導補助教員） 1名
（５）その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4．社会貢献活動				
（１）講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	特別支援教育コーディネーター研修会	埼玉県総合教育センター	特別支援学校基礎コース 通常学級における支援の実際	2025/7/31
2	川越市免許法認定講習（特別支援教育）	川越市教育委員会	発達障害教育総論	2025/8/6

3	さいたま市免許法認定講習（特別支援教育）	さいたま市教育委員会	発達障害教育総論	2025/8/7
4	川口市巾堅教諭等資質向上研修	川口市立教育研究所	特別の支援を要する児童生徒の理解と対応	2025/8/8
5	埼玉県看護協会東部支部交流会	埼玉県看護協会東部支部	大人の発達障害への理解を深める方～ともに働く配慮とポイント～	2025/9/13
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	埼玉県立春日部特別支援学校		学校評議員	2016.6～現在
2	越谷市教育委員会		発達支援訪問指導事業指導者	2009.4～現在
3	三芳町教育委員会		特別支援教育アドバイザー	2009.4～現在
4	志木市健康福祉部子ども家庭課		障がい児保育巡回指導指導者	2009.4～現在
5	鴻巣市立教育支援センター		通級指導教室スーパーバイザー	2008.4～現在
6	日本発達障害学会		日本発達障害学会評議委員	2018.1～現在
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称			年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	障害学生アドバイザー（発達障害部門）		2025.4～2026.3
2	学科等における委員会等	研究誌『子ども・教職研究』編集委員会・編集委員長		2025.4～2026.3
3	学科等における委員会等	教職科目担当者会代表		2025.4～2026.3
4	大学広報活動	埼玉県立大学オープンキャンパス企画・開催（教職課程相談会）		2025年度
5	学生支援（卒業生を含む）	教職ホームカミングデー企画・開催		2025年度
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名		主催	受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名		特許番号	登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			